

サーバ移行資料（機能・フォルダ比較）

(旧) ドメイン1G/2G/5G (現在)

<機能一覧>

利用できなくなる機能
AnonymousFTPアカウント
サイト全文検索エンジン (Namazu)
アクセスカウンタ (wwwcount)
ストアカート
高機能フォーム作成ウィザード
アクセスログ分析 (webalizezr)
アクセスログ分析 (analog)
アクセスログメール配信機能
グループウェア
ウェブメール (携帯電話対応タイプ)

(新) ドメインN1G/N2G/N5G

利用できるようになる機能
WAF
ディスク使用量通知
外部バックアップ
コンパネログインIP制限
コンパネ二段階認証
Git
WEBDAV

<フォルダ階層について> *はお客様毎に割り当てられた任意の数字となります。詳しくは登録証等をご覧ください。

旧 (現) サーバー	
ユーザID	g60****
httpドキュメントルート	/usr/home/g60****/html
httpsドキュメントルート	/usr/home/g60****/secure
/	ブラウザで表示する場合のアドレス
html	
index.html	http://example.jp http://www.example.jp
secure	
index.html	https://example.jp https://www.example.jp
log	
ftp	
■	のフォルダは移行対象外

新サーバー	
ユーザID	fa222****
httpドキュメントルート	/usr/home/fa222****/html
httpsドキュメントルート	/usr/home/fa222****/html
/	ブラウザで表示する場合のアドレス
html	http://example.jp https://example.jp http://www.example.jp https://www.example.jp
virtual	virtualは新規機能追加されたサブドメイン用のフォルダです。
www2	index.html http://www2.example.jp
www3	index.html http://www3.example.jp
※下記注意点もご確認ください。	
(注) サブドメインはWEBのみ利用可能。メールは利用できません	

<共用SSLの利用について> *はお客様毎に割り当てられた任意の数字となります。詳しくは登録証等をご覧ください。

旧 (現) サーバー	
ユーザID	g60****
httpsドキュメントルート	/usr/home/g60****/secure
サーバのホスト名(例)	g60*.secure.ne.jp
共用SSLのURL	https://サーバのホスト名/~お客様ID/index.html 【変換例】サーバホスト名がg601.secure.ne.jpの場合 https://g601.secure.ne.jp/~g60****/index.html

新サーバー	
ユーザID	fa222****
httpsドキュメントルート	/usr/home/fa222****/html
利用するドメイン名(例)	example.jp
共用SSLのURL	https://お客様ドメイン名を一部変換).cpi-common.jp 【変換例】お申し込みドメインがexample.jpの場合 https://ssl-example.jp.cpi-common.jp

<その他>

■メールアカウントのパスワードに関する仕様

現在新サーバーで登録中のパスワードはコントロールパネルから出力できません。※上書きは可能。
パスワードポリシーは旧サーバーから変更はありません。

■コントロールパネルのTOP右側の容量表示は新サーバーの場合、空き容量の表示はなく、ご利用された分が円グラフに表示されるようになります。

※注意点 (フォルダ構成について)

旧 (現) サーバーでは、httpでのアクセスの場合：htmlフォルダhttpsでのアクセスの場合：secureフォルダ とドキュメントルートフォルダが分かれていたのに対し
新サーバーでは、httpとhttpsのアクセスの両方：htmlフォルダへのアクセスとなります。
SSLをご利用されていたお客様は旧(現)サーバのsecureフォルダにアップロードされていたデータを新サーバのhtmlフォルダに移行して頂かなければなりません。
secureフォルダ内に設置されている indexファイル(index.html等)をそのままhtmlフォルダに移行されると、httpで表示していた時のindexファイルを上書きして環境してしまう事が考えられるため、
必ず調整が必要となります。